

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 14 No.22 2012年11月30日号

編集:editor@cnar.jp 広告:pr@cnar.jp 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2012 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

エルモ社、ウェブ会議用カメラとしても使用できるワイヤレスプレゼンテーションツール、コンパクト軽量のモバイルプロジェクターなど発表



株式会社エルモ社(名古屋市瑞穂区)は、ウェブ会議用カメラとしても使用できるワイヤレスプレゼンテーションツール「MO-1w/VPR-1」(左写真)を5月に発売。(取材:

11月21日 エルモソリューションフェア 2012)

MO-1w/VPR-1は、先の3月に発売されたモバイル書画カメラ「MO-1」の姉妹製品でワイヤレス搭載モデルとなる。モバイル性に特長があり本体重量は550グラムと軽量でビジネスバックに入れて運ぶこともできる。

500万画素 CMOS センサ、8倍デジタルズーム搭載。可動式アームと回転カメラヘッドであらゆる角度からの安定した被写体撮影が可能。本来の書画カメラとしての機能性のほか、USB 端子を通じてパソコンに接続することで、Skype や Web 会議システム用の Web カメラとしても活用できる。なお、音声については、本体内蔵のマイクが使える。

入力については、アナログ RGB と HDMI 入力端子を装備し、PC、スマートフォン、タブレット、DVD プレーヤー、ブルーレープレーヤーなどを接続することが可能。加えて、USB(電源供給可能)や SD カードスロットもある。

ワイヤレスシステムには WHDI 方式を採用し、Full HD 映像を 30fps のフル動画で音声とともにワイヤレス伝送(約 10m、ただし、使用状況により異なる。)することができる。その際には、HDMI 端子を持つ VPR-1(受信機)と組み合わせ

る。VPR-1 で受信された映像と音声は、HDMI 端子を通してデジタルテレビモニターに投影できる仕組みとなっている。Full HD によって書類や被写体をより精細に撮影することが可能だ。



Web 会議用の Web カメラとしても使用可能(エルモ社 資料)

書類や小さなモノ、手元の操作を大きく映し出すといった書画カメラの機能が、プレゼンテーションや会議の場において内容の説得力と参加者の理解度を高めるところに書画カメラの本来の価値がある。

そういった従来の使い方に加え、出張先や客先で使用できるモバイル性、そして、パソコン、スマートフォン、DVD プレーヤーなどのマルチデバイス対応、マイク内蔵の Web カメラとしての活用ができる点などから、ビジネスプレゼンテーション機器としての書画カメラの用途は広がっていると同社では説明する。

その中で、ビジネス向けでは、書画カメラ単体での導入のほか、テレビ会議システムと一緒に導入する案件も AV システムなどトータルなソリューションを中心に結構引き合いがあるという。

一方、小中学校などにおいても先生の便利な道具として書画カメラが広がっているという。教育における ICT 化の一環として小中学校の普通教室の 30%弱(延べ 112 千台)まで普及

しており、プロジェクタや電子黒板を凌ぐ導入台数となっている。ちなみに教育市場では、「実物投影機」「資料表示装置」とも呼ばれている。

これまでエルモ社は、書画カメラのリーディングカンパニーとして、ビジネス用途だけでなく、世界の ICT 教育市場における書画カメラ普及にも努めてきた。毎日の授業に書画カメラを使うことで、わかりやすい授業を展開できることが、世界各国の多くの教員の支持を受け、使いやすく効果的な ICT 機器として高い評価を受けている。

たとえば、同社が学校や教育機関向けに昨年 7 月に発売した、インタラクティブ書画カメラ「L-12(愛称:みエルモん)」は、ワイヤレス・ペンタブレットと組み合わせることで、書画カメラで大きく映し出された教科書や子供のノート、ワークブック画面への書き込みや保存が行えるなど、教師と児童のよりインタラクティブなコミュニケーションが好評という。また、MO-1 や MO-1w/VPR-1 もその簡単さや持ち運びの利便さで学校への浸透が進んでいるという。

「学校における導入実績は多く、当社のウェブサイトにおいて数百もの事例を紹介している。また教育現場での効果的な使用を紹介した HOT Edu+(ホットエデュ・プラス)も無償配布している。是非参考にしてほしい。」(エルモ社)



BOXi, ランチボックスサイズで重量が500g(エルモ社 資料)

書画カメラのほかにも、エルモ社では、最近、ビジネスからパーソナル用途まで対応するモバイルプロジェクター「BOXi(ボクシー)」を 10 月に発表した(12 月発売)。ランチボックスサイズで重量が 500g。LED を光源とする専用光学エンジンと、省スペースで大画面が投写可能な短焦点レン

ズを搭載(焦点距離 1m で 50 インチの投写)。スイッチを入れて 7 秒で投写、終了時のクリーニングも不要という。

さらに RGB・HDMI 各入力、USB 端子や WiFi 機能がある。たとえば、iPad 等のモバイル機器と WiFi 接続でき、USB メモリを接続すれば保存されているパワーポイント、エクセルデータ、ワードデータ、動画コンテンツを PC レスで投写できる。あるいは、最近広まっている、テレビ会議やウェブ会議、ペーパーレス会議端末としてのタブレットの表示装置としても活用ができるかもしれない。

その他、同社では、多目的フィールドカメラ「QBiC(キュービック)」を 10 月に発表した(12 月発売)。QBiC で撮影した映像をスマートフォンやタブレットに WiFi 接続し、モニタリングやリモートコントロールすることができる。1 台のモバイル端末に複数台の QBiC という使い方もできる。

「要望があれば今後テレビ会議や Web 会議システムとの連携も考えられる製品だ。工場や外でのフィールドワークで活用できる可能性がある。」(エルモ社)



QBiC D1

QBiC X1



QBiC とスマートフォン間の WiFi 接続 (エルモ社 資料)

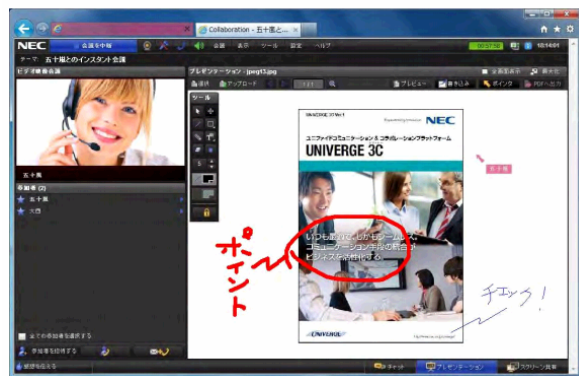
エルモ社では、今年、「エルモソリューションフェア 2012」と題して新製品発表展示会を全国各地で開催しており、上記の製品のほか、フル HD ネットワークカメラ(監視)、HD-SDI

カメラシステム、自主放送システム(館内映像放送)、映像音声用の周辺機器(クレーマー製品)などを紹介している。12月5日は大阪で予定されている。

NEC、コミュニケーション&コラボレーションプラットフォーム「UNIVERGE 3C」の発売

日本電気株式会社(東京都港区)は、コミュニケーション&コラボレーションプラットフォーム「UNIVERGE 3C(ユニバージ スリーシー)」の販売を11月6日から開始と発表。出荷は、2013年1月から。(11月6日)

Web会議(ビデオ)画面イメージ



UNIVERGE 3C Web会議画面イメージ (NEC 資料)

UNIVERGE 3Cは、従来別々に利用されていた電話、ビデオ、プレゼンス、インスタントメッセージ、Web会議などの機能をひとつのプラットフォームに集約した。

Webアプリケーションアーキテクチャーを採用することにより、スマートフォン、タブレット、PCなど多様な端末において同じユーザエクスペリエンスを提供している。

また、業務アプリケーションとの連携、音声システム(UNIVERGE SV等)との連携、仮想化などに対応し、オープンなAPIを用意。

API提供においては、オフィス環境でのユニファイドコミュニケーションに限らず、自治体の遠隔相談システム、空港のテレビ電話案内システム、ホテルのルームサービス連携など、業種特有のアプリケーションソフトとの連携を容易にする。

また、UNIVERGE 3Cは、同社の「UNIVERGE SVシリーズ」との親和性に優れており、SIPサーバ国内シェア第1位

という。UNIVERGE 3CとUNIVERGE SVが連携することで、内線との連携や高品質なWeb会議などコラボレーション環境を強化としている。

UCクライアント(Windows®、Mac OS®)画面イメージ



モバイルクライアント(iOS, Android(TM))画面イメージ



UNIVERGE 3C 画面イメージ (NEC 資料)

UNIVERGE 3Cの価格は、1000ライセンスの場合、標準価格で2,100万円から。端末、サーバ、ゲートキーパーなどのハードウェアおよび工事費は含まれていない。

ネットワークバリューコンポネッツ、Vidyo社の技術をベースにしたテレビ会議クラウドサービスを開始

株式会社ネットワークバリューコンポネッツ(神奈川県横須賀市)は、米Vidyo社のテレビ会議システム技術をベースとした「NVC テレビ会議クラウドサービス」の提供開始を発表。(11月1日)

NVC テレビ会議クラウドサービスは、Windows、Macintosh、Linux搭載のPCのみならず、AndroidやiOSなどのスマート

フォンやタブレットなどでのテレビ会議が行える。同時接続数に制限がなく会議予約なしで複数の会議を開催することができる。価格体系がシンプルで手軽に利用できる月額制。本サービスでは、初期費用なしで2 ユーザ ID 月額 7,000 円から利用できるとしている。

サービス開始は、11 月 1 日だが、初年度の販売は 1,000 ユーザ ID を目標としている。販売先については、一般企業、学校、官公庁、自治体などスマートフォンやタブレット端末を活用し、複数の拠点間でのテレビ会議、あるいは、同時に複数のテレビ会議開催を必要とする組織を特にターゲットと考えているという。

**関連記事: 定期レポート 2010 年 1 月 31 日号 販売代理店契約締結*

ブイキューブ、日中間での利用環境を快適にする日中間専用線サービスを開始

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、Web 会議サービス「V-CUBE ミーティング」のオプション機能として、日中間専用線サービス「China FastLine(チャイナファーストライン)」の提供を 11 月 1 日より開始。(10 月 23 日)

日中間のインターネット接続では、遅延など回線品質の問題が生じる場合がある。そこでブイキューブは、日本と中国の間を、V-CUBE ミーティング専用の回線で接続することで、Web 会議用の回線品質の改善を行った。その結果、安定的な通信を確保し、より快適なサービスの実現が可能になったという。

本オプションは、8 月より複数のユーザ企業にトライアル版を提供した。そのトライアル版を利用した、プレスリリースに掲載されているユーザ企業のコメントによると、通信系のトラブルで会議が中断することはなく、また、画像・音声ともにクリアで音声遅延についてもほとんどなく、国内での利用時と変わらなかったという。

シスコシステムズ、パートナー向け「HCS」機能拡張とホステッドクラウドサービスとプライベートクラウド向けの包括的 Web 会議ソリューションを発表

シスコシステムズ合同会社(東京都港区)は、企業、サービスプロバイダー、パートナー向けの「Cisco Hosted Collaboration Solution(HCS)」の機能拡張と、ホステッドクラウドサービス&プライベートクラウド向けの包括的 Web 会議ソリューションを発表。(10 月 24 日)

シスコシステムズは、6 月に発表した「Cisco UC」の最新機能の多くを HCS によってクラウドに拡張したことになる。Cisco HCS をプラットフォームに採用することで、サービスプロバイダーなどのパートナーは、グローバルスケールでクラウド型ユニファイドコミュニケーションサービスを展開できるという。

まず、HCS 内での TelePresence 機能拡張の主なものについては以下の通り。

(1) Cisco HCS パートナーは顧客に対して「静的ブリッジオプション」の提供を行える。これによりユーザはミーティングの予約なしにテレプレゼンスを行えるようになる。

(2)「Cisco Telepresence Exchange(CTX)」を HCS に統合することで、パートナーはテレプレゼンスやビデオ会議に必要なインフラストラクチャをより効率的に管理できる。加えて、CTX の統合によって、ユーザは外部の複数の場所を同時に接続できるようになる。ホステッドサービスであるため、顧客は端末の購入もしくはリースするだけでインフラ装置の部分はパートナーが提供する形になる。

次に、「Customer Collaboration」向け HCS の拡張においては以下の通り。

(1) パートナーは顧客の複数のコンタクトセンターを簡単に管理できるようになった。またコールセンター担当者が必要とする関連情報をカスタマイズ可能な単一コクピットに集約する「Web2.0 コラボレーションデスクトップ」を提供できる。なお、この Web2.0 コラボレーションデスクトップはカスタマイズにも対応する。

さらに、6 月に発表した「Cisco UC」の最新機能の多くを

HCS によってクラウドに拡張したが、それらの中で主なもののいくつかは以下の通り。

(1)「Cisco Unified Communications Manager」の新機能は、Cisco Jabberと連携することで、Cisco UC 環境でサードパーティ製の電話を利用できるようにする。

(2)「IP Multimedia Subsystem」統合機能により、Cisco HCS パートナーは、顧客にモバイル対応の「Fixed Mobile Convergence(FMC)」機能を提供できる。

最後に、ホステッドクラウドサービスとプライベートクラウド向けの包括的 Web 会議ソリューションについては以下の通り。

(1)「Cisco WebEx Meeting Server」:プライベートクラウド環境でオンラインミーティングを効果的に行うためのツールが統合されている。このソリューションは、オンプレミスサービスを要望するユーザへの提供を想定している。

オンプレミスサービスでは、PC・Mac・iPhone・iPad 向けの Web クライアント、高画質ビデオ、共有・注釈、コラボレーションツール、録音・再生を含め、パブリッククラウドソリューションと同様のサービスを提供する。また、「Cisco UCS」サーバ専用仮想化ソフトウェアソリューションも用意されている。

なお、Cisco WebEx の登録ユーザについては、前年比で 30%増加し、2012 年 8 月には 680 万人に到達。ミーティング数は、前年比で 38%増、2012 年 8 月に 960 万回に到達。また、ミーティング時間から見ると、前年比 32%増、2012 年 8 月には 18 億分に達したという。

製品・サービス動向-海外

ブラザーインターナショナル社、Web カメラとスピーカフォンの新製品を発表

ブラザーインターナショナル社は、Web カメラとスピーカフォンの新製品を発表した。これらの新製品は、Brother-USA.com にて販売するとしている。(10 月 25 日)

今回発表された新製品は、Web カメラの「NW-1000」と、スピーカフォンの「VT-1000」。

NW-1000 は、フル HD1080 と HD720 の映像品質を提供

し、H.264 に対応している。ステレオデュアルマイク搭載。デスクトップパソコンまたはノートパソコンに対応する。プラグアンドプレイ対応。USB 端子搭載。価格は、99.99 ドル。2 年の使用保証書付き。

VT-1000 は、無指向性の全二重方式マイク。ノイズリダクションやエコキャンセレーション搭載。価格は、99.99 ドル。2 年の使用保証書付き。

今回の発表で、ブラザーインターナショナル社は、Web 会議に必要なサービスから Web カメラ、スピーカマイクまでを提供することになった。これらの製品は、他社の Web 会議サービスでも問題なく使用できるが、ブラザーが提供している「OmniJoin Web Conferencing」サービスに最適化されているという。販売は小規模から中規模事業者を対象としている。

ビジネス動向-海外

Providea Conferencing 社、H.323/SIP ビデオ会議システムと Skype や Google Talk の相互接続を実現するゲートウェイサービスを開始

米 Providea Conferencing 社は、クラウド型相互接続サービス「Providea Gateway Service(プロビディア ゲートウェイ サービス)」を発表した。(8 月 29 日)

この Providea Gateway Service は、コンシューマービデオチャットとビジネスビデオ会議システムの相互接続を実現するサービスで、既存のビデオ会議システム(同社パンフレットによると H.323/SIP)、たとえば、シスコやポリコム、ライフサイズのシステムと、Skype や Google Talk との間で相互にビジュアルコミュニケーションが行えるようになる。

SPS 社、Providea 社の買収を発表、システムインテグレーションとマネージドサービスの統合によりエンドツーエンドの UC ソリューションの提供を狙う

Strategic Products and Services 社(SPS、米国ニュージャージー州)は、米 Providea Conferencing 社(米国カリフォルニア州)の買収完了を発表した。(10 月 22 日)

SPS 社は、マルチベンダーに対応したシステムインテグレー

タ。北米に 30 拠点以上をオフィスがある。数多くの IT ベンダーとパートナーシップを締結しており、その中で遠隔会議系では、アバイア、シスコ、マイクロソフト、ポリコム、ライブサイズ、Sonexis/Compunetix などのパートナーとなっている。

一方、Providea Conferencing 社は、テレビ会議端末、インフラ、UC 統合、ネットワーク管理、マネージドサービスなどのソリューションを提供する。オフィスは北米とイギリスに複数ある。6,000 社以上の顧客にソリューションを提供している。

今回の買収は、SPS 社のフルサービス システムインテグレーションとマネージドサービスを統合することでエンドユーザーの UC、コンタクトセンター、あるいはクラウドソリューションを提供する狙いがある。なお、買収金額は開示されていない。

Blue Jeans Network 社、ソーシャルネットワークサービスのリンクトインとの統合ソリューションを発表

Blue Jeans Network 社(BJN)は、同社のクラウド型テレビ会議サービスとソーシャルネットワークサービス「Linkedin(リンクトイン)」のサービスを統合したソリューションを提供することを発表。(10 月 22 日)

Linkedin サービスと統合することで、Linkedin のプロフィールを、BJN 社のテレビ会議サービスのユーザプロフィール(写真、役職、所属など)に自動でアップロードすることができる。これにより、BJN 社のサービスを利用してテレビ会議を行っている最中に、Linkedin のアカウントを持つ他のユーザの名前をクリックすることでその人の Linkedin の情報を参照できるとともに、そのユーザへ Linkedin のメッセージ機能を利用してメッセージを送ることもできる。

BJN 社では、ビジネスアプリケーションやソーシャルエンタープライズサービスとの統合ソリューションを提供することで、ユーザがよりパーソナルで効率的な会議を行えるようになると考えており、今年 9 月に発表された Salesforce.com

との統合や今回の Linkedin との統合などはこの取り組みの一環となる。

MNS 社、クラウド型 (SaaS) テレビ会議サービス「MCU1.com」のベータ版を発表

Media Network Services 社(MNS)は、クラウド型(SaaS)テレビ会議サービス「MCU1.com」のベータ版を発表した。(10 月 30 日)

このサービスによって、サービスプロバイダーは、従来の複雑なテレビ会議を簡単にし、ユーザが自社のテレビ会議の管理を容易にすることを可能にするとともに、より多くの人がテレビ会議を使える環境を提供するところに特長がある。

MCU1.com は、MNS 社の「Worldwide Quality of Service(QoS)クラウドサービス」と、世界に点在するインターネットアクセスポイントなどを組み合わせて提供される。それらのアクセスポイントから MNS 社ネットワークへ接続する形になっている。

MNS 社は、サービスプロバイダーがワールドワイドにテレビ会議サービスを提供する上で必要となるグローバルネットワークサービスを提供している。MNS サービスは、HD によるテレビ会議が可能であるとともに、多様なネットワークや端末などを越えることができる相互接続性に特長がある。また、今回発表された MCU1.com に加え、ソーシャルネットワークサービスである Linkedin と統合したディレクトリーサービス「VCdial.com」も提供している。

関連記事:定期レポート 2011 年 10 月 15 日号

セミナー・展示会情報

<国内>

[ポリコム主催] 真の映像コミュニケーションとは - HDX 体験会

開催日時:① 12 月 4 日(火) 午後 2 時～

② 12 月 12 日(水) 午後 4 時～

③ 12 月 20 日(木) 午後 4 時～

*参加申込締切はそれぞれ開催日の 2 日前。詳細は確認要。

会場:ポリコムジャパン セミナールーム

主催:ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込:<http://www.polycom.co.jp/company/events/index.html>

*デモンストレーションを交えてのポリコムの最新映像コミュニケーションを体感するセミナー。Q&A を含め 1 時間程度。

定期レポート 電子ブック版

CNA レポート・ジャパンでは、毎月2回業界ニュース(定期レポート)を 1999 年から発行しておりますが、この度、カタログスクウェアさんに、2003 年から 2011 年までの定期レポートを1年毎に合冊していただきました。2012年は1号毎です。

また、今年 8 月 4 日には、これまでの PC からの閲覧に加えて、スマートフォンやタブレットからも閲覧できるようになりました。

CNA Report Japan アーカイブ 電子ブック版

2003 年-2011 年

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

2012 年

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/2012/

定期レポート(PDFファイル)は年間 23 号発行されておりますが、電子ブックによって1年分を一度にダウンロードできこれまでのように1号毎に PDF をダウンロードする必要はありません。もちろん今までの PDF もアーカイブしています。

電子ブック版は、本のページをめくるようにとも読みやすくなりましたし、また1年単位ですが全文検索もしやすくなりました。定期レポートの読者の皆さんにとっても良いのではないかと思います。

ちなみにこの定期レポートは私にとっては、遠隔会議のリサーチの一環としてまとめているものでもありますし、また、私自身の活動を広げていくための機会への窓口にもなっています。

カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

*遠隔会議業界で長くお勤めされ、今年電子カタログ・ソリューションで起業された方が経営されている会社です。

*この電子ブック版についてご意見等ございましたらよろしくお願いたします。橋本宛 cnar@cnar.jp

Twitter、Facebook、dtc-forum

ツイッターとフェイスブック、dtc-forum を通して遠隔会議関連の情報を配信しています。よろしければご覧ください。

>dtc-forum メーリングリスト

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

>Twitter

－日本語版: <https://twitter.com/cnarjapan>

－英語版: <https://twitter.com/cnarjp>

>Facebook

－「テレビ会議・Web 会議・電話会議 & ユニファイドコミュニケーション研究会」

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

－「橋本啓介」個人のページ

<https://www.facebook.com/keishashimoto>

編集後記

今号もお読みいただきましてありがとうございました。

今年の定期レポートは、残りあと 12 月 15 日号のみとなりました。12 月末は年末年始のお休みとさせていただいております。12 月はこれまでの 10 年以上の資料の再整理作業を行う予定です。また勉強会へのお問い合わせも戴くことがありますので、迅速に対応できるようにそのための準備作業も行う予定です。

次号もよろしくお願致します。

橋本啓介